



上末っ子

～ 学び合い みとめ合い 一人ひとりが輝く上末っ子 ～

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamisueyoshi/>

令和5年4月28日

5月号

横浜市立上末吉小学校



学校ホームページ用 QR コードです。学校の様子をご覧ください。

自分のよさ

校長 内田 宏平

以前、ある研修で「短所を長所に言い換える」という活動に取り組んだことがあります。例えば、「優柔不断」と表現すると短所になるイメージですが、「思慮深い」であれば、長所ととらえることができます。

私たちは、相手を尊重することを美德とする文化の中で育っているので、「相手のよさ」を見つけることは割と得意です。しかし、「自分のよさ」となると、とたんに表現しにくくなります。気恥ずかしくなるのかもしれませんが、だから、つい、自分のことを短所ベースで語りがちになります。自分のことを一番よく知っているのは自分です。そんな自分を労わったり、褒めたりすることのできる自分であるために、「自分のよさ」を知っておくことは大切なのだと考えます。

先日、地域の方からお電話をいただきました。

「道端で倒れている高齢の女性を発見した小学生が、その方を助けようとして、通りかかりの自分に声を掛けてくれた・・・」という出来事があったことを教えてくださいました。

人が倒れているのは怖いです。小学生にとってはなおさらです。でも、何とか助けたいという思いをもって行動することができた・・・その子たちはきっと「自分のよさ」を発揮することで、人の命を助けるという大きな価値をもつ行動につながることができたのだと思います。

「自分のよさ」を知ることは、行動する勇気につながります。子どもたちには、日頃から、「自分のよさ」を知ってもらいたいと思うのです。気恥ずかしくて、「自分には無いし」という子もいるかもしれません。そこは、大人の出番です。ぜひ、「お子さんのよさ」を表現してみてください！（以前、私が担任していたクラスの懇談会で「自分の子どものよさ」を伝え合っていたところ、だんだんと愚痴大会みたいになって大笑いしたことがありました。身近な存在だからこそネガティブな表現になりがちですが、そこは「短所を長所に言い換える」テクニックで乗り切りましょう！）

自分の子どものよさ

- ◎
- ◎
- ◎
- ◎

書き出した「自分の子どものよさ」をお子さんに伝え続けていきましょう。その積み重ねがお子さんにとって生涯の宝物になるはずですよ。

4月号でお示した「子どもたちの笑顔を守るために、大人も笑顔で！」を実践するために、大人もチャレンジしてみましょう！

自分のよさ

かくいう私も、「自分のよさ」に気恥ずかしさを覚えるタイプでしたが、マラソンをやり始めて（特に、40km以降の自分と向き合ってから）自分のよさを堂々と表現することができるようになりました。その点で、マラソンはお勧めです！（横浜マラソンのエントリー5月2日までです。）

地域の皆様、関係の皆様、新年度が始まってからの一か月、子どもたちの様子を見守っていただきありがとうございます。今号に掲載したような、子どものよさが見える場面を目にすることがありましたら、ぜひ、学校までお知らせください。子どもたちの成長につなげられるよう学校全体で共有し、生かしていきたいと考えています。よろしく願いいたします。

